

みさと自主防災報

～私たちの街は
私たちが守る～

平成11年12月15日

第3号

発行 三郷市自主防災組織連絡協議会
事務局 三郷市総務部防災対策室
〒341-0026
埼玉県三郷市幸房1155
TEL 0489(52)1294
FAX 0489(52)6780



撮影：三郷市・福岡大助氏

「あぶないよ ひとりぼっちにしたその火」

いざというときのために

初期消火や、避難ができるよう

日ごろから訓練しておこう

「私たちの自主防災組織連絡協議会」の充実を目指して



皆様にはご壮健にて益々ご活躍されておられることと、お喜び申し上げます。また、当連絡協議会結成以来、並々ならぬご理解ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。当連絡協議会も3年目を迎えまして、本年6

月の総会で2年任期の役員の交代が承認されました。はからずも会長は続投との意見が採択されましたが、新体制のもと微力ながら引き続き努力いたす所存でございます。皆様のさらなるご理解ご協力を頂戴できますれば、この上ない幸いと存じます。

さて、私たちはあの「阪神・淡路大震災」の経験から多くを学びました。しかし、この経験から丸5年を迎えようとする昨今、当時の自然災害に対する危機意識がうすくなることはあっても、強まることのないように感ずるのは私だけなのでしょうか。「阪神・淡路大震災」直後、多くのデパートや量販店では、防災グッズのコーナーを設け、多くのお客で賑わっておりました。新聞やテレビなどの報道機関も、防災特集を企画いたしました。現在も自然災害は多くの所で発生しております。本年は2度にわたりトルコで、あるいはギリシャや台湾で多くの尊い命が失われました。また、今夏の玄倉川での事故

三郷市自主防災組織連絡協議会

会長 今井 栄三郎

も心が痛みます。報道機関などから得られる事故対応策や事故回避策は、常に惨事の後に報道されます。事前に報道されていれば、多くの命が救われたと思われる。やはり「後悔先にたたず」なのでしょうか？ 寺田寅彦博士は「災害は忘れたころにやってくる。備えよ、常に」と災害に対する心構えを説いております。一人ひとりが災害を常に意識し、常に災害に備えることが、もっとも大切なことだと確信しております。

そこで本年度は防災の原点に戻って協議会活動の展開を考え、各自主防災会活動の充実を図っていきたく存じます。そのためには、各自主防災会との情報交流会や講演会をさらに充実・発展して参りたいと考えます。また、現在84団体の自主防災会が加入されております中で、市防災機関の休日の出勤は、防災訓練などだけでも、年延40日余りとなっております。各自主防災会の横のつながりを広げ、合同訓練による訓練の充実を検討する必要があります。

今後共訓練に際しては皆様の積極的なご参加を頂き、より安全な地域社会づくりのお役にたてましたら幸いと存じます。重ねて、皆様のご理解ご協力をお願い申し上げ、各自主防災会の益々のご活躍を祈念いたします。

平成10年度活動報告

事業を進めていく上での要となる役員会は、3名増員され11名体制で8回開催し、役員相互の意志疎通を図り、事業を推進いたしました。

実施した各事業について、以下報告します。

平成10年6月13日（土） 総会

消防・防災総合庁舎で開催。決算・予算、事業計画等の承認を得ました。

平成10年6月13日（土） 第1回講演会

総会後に開催。防災科学技術研究所 岡田義光地震調査研究センター長から「自主防災組織への期待」をテーマに自主防災会長の方々約50名を対象に講演会が実施されました。

平成10年12月15日（火） 機関紙発行

機関紙第2号を発行しました。

平成11年1月23日（土） 第2回講演会

鷹野文化センターホールにて開催。実際に阪神・淡路大震災を体験された神戸市長田消防団第7分団部長 古市忠夫氏に「震災後の日々の体験」を演題に講演をし

ていただき、参加者は250名でした。多くの方から「昨年以上に大変感銘を受けた」との感想が寄せられました。

平成11年2月から3月 ブロック別情報交流会

市内を6ブロックに分けて開催。地域によっては、未結成のところも参加し、「防災訓練のありかた、結成へ向けての取り組み」等活発に意見が交換されました。参加者は127名でした。

平成11年2月21日（日） 防災施設視察研修

関東大震災の状況が分かる復興記念館、そして午後から防災体験等ができる本所防災館を視察しました。



平成11年度事業計画および予算の概要

平成11年度総会におきまして、承認されました本年度事業計画及び予算の概要は次のとおりです。

事業計画

平成11年6月	講演会
平成11年11月	ブロック別情報交流会 (平成12年3月までの期間で実施)
平成11年12月	機関紙第3号の発行 (市内全世帯に配布)
平成12年1月	講演会
平成12年3月	防災施設見学

予算概要

収入につきましては、会費、三郷市補助金、及び前年度繰越金の合計122万円を見込んでいます。

支出といたしましては、講演会経費、機関紙発行費用及びブロック別交流会経費など事業費と事務経費などを計上いたしました。

※ 役員改選される

活動を強化するために幹事2名を増員し、総勢13名の体制となりました。今期3名の役員が退任され、5名の役員が新たに選出されました。任期は平成13年3月までとなっています(役員名簿は4ページに掲載)。



わが町の防災会

彦成2丁目町会自主防災会

私たちの彦成2丁目町会自主防災会には700世帯の方々に加入して頂いておりますが、自主防災会発足以来諸器材の購入等は一切なく訓練を中心とした活動をさせて頂いております。写真は平成11年10月24日に行われた彦成1・2丁目合同による第7回自主防災訓練風景です。訓練内容は、煙体験、避難誘導、消火、救護、給食・給水、そして地元消防団によるポンプ操法等、澄みきった秋空のもとでの楽しい一時でした。

自主防災組織連絡協議会の

2年間を振り返って

前副会長 谷口 昭作

当協議会の発足は平成9年3月。さきの阪神・淡路大震災、オウムによるサリン事件等々で日本の安全神話が崩壊し、新しいシステムを求めて社会全体が様々な分野で模索し始めたときです。あれから約3年、今井会長を先頭に当初8人の役員も13人に強化されて、参加の防災会も83団体となり、各防災会の更なる活性化、未組織地区の解消を目指し講演会、ブロック別交流会、合同訓練等々を推進して参りました。

このような時、国外では8月トルコ大地震、9月台湾大地震と立て続けに都市が大きな被害を受け、自然は私たちに容赦なく試練を与えているようです。がれきの中から被災者を救出する様は5年前の神戸を連想させずにはおきません。この二つの地震が日本に影響をもたらす訳ではありませんが、いま私達の近くでは140年の歪みを蓄積してきた”東海地震が臨界状態”にあるといわれております。この地震は関東大地震同様海溝型の巨大地震となる可能性大であり被害の拡大が心配です。加えて南関東は地震の巣、私達防災関係者は地域の皆様と共に心して準備に努めなくてはならないと考えます。

ともあれ本市の自主防災会が避難救助訓練等を積極的かつ定期的に行っている事は、住民の方々にいざというとき自信と安心を与えると共に、大災害における助け合いは日頃訓練を積んだ近所同士の協力が何より効果的です。

最後に役員の皆様の活躍と、黒子役に徹して各団体の技術向上に取り組む防災対策室に敬意を表しつつ退任の挨拶とさせていただきます。

(平成11年10月)



講演会のご案内

NPO法人 日本災害救援ボランティアネットワークの 寺本弘伸氏をお迎えして、下記の通り講演会を開催いたします。謹んでご案内申し上げます。

記

日時 平成12年1月22日(土)
講演:14時より16時まで

場所 三郷市文化会館小ホール
(開場 13時15分)

演題 「防災街づくり活動」
— 阪神・淡路大震災の
救援活動から学ぶ —

講演内容

- ☆ 日本災害救援ボランティアネットワーク (NVNAD)
- ☆ 非常時の救援活動の実際
- ☆ 地域防災ワークショップ
「わがまち再発見」
- ☆ 連携とボランティア意識
- ☆ 今後に残されている課題

参加ご希望の方は、事務局まで。

三郷市自主防災組織
連絡協議会役員

(任期 H13.3.31まで)

- 会長 今井 栄三郎
(丹後上町会自主防災会)
- 副会長 倉 骨 庄 治
(戸ヶ崎美郷町会自主防災会)
- 副会長 中 村 智 英
(彦成2丁目町会自主防災会)
- 幹事 飯 倉 道 雄
(みさと第一住宅自主防災会)
- 幹事 石 原 功
(三郷早稲田第七団地管理組合自主防災会)
- 幹事 藤 井 経 義
(三郷早稲田第一住宅管理組合自主防災会)
- 幹事 増 田 登 美 雄
(東町上町会自主防災会)
- 幹事 宮 田 正 義
(彦野町会自主防災会)
- 幹事 柳 高 夫
(新和4丁目町会自主防災会)
- 幹事 吉 岡 貞 義
(大広戸町会自主防災会)
- 会計 石 出 利 勝
(鷹野5丁目鎌倉町会自主防災会)
- 監事 浦 島 富 雄
(みさと第二住宅自主防災会)
- 監事 外 谷 寅 治
(戸ヶ崎2丁目西町会自主防災会)

三郷市自主防災組織連絡協議会加入団体一覧

(平成11.12.1 現在)

彦 成 地 区

谷口南町会自主防災会
谷口北町会自主防災会
谷口西町会自主防災会
上口町会自主防災会
彦倉町会自主防災会
彦野町会自主防災会
彦成1丁目町会自主防災会
彦成2丁目町会自主防災会
采女町会自主防災会

みさと団地・さつき平地区

みさと第一住宅自主防災会
みさと第二住宅管理組合自主防災会
みさと第三住宅管理組合自主防災会
みさと第四住宅管理組合自主防災会
みさと第六住宅管理組合自主防災会
みさと団地自治会一街区自主防災会
みさと団地自治会二街区自主防災会
みさと団地十街区自主防災会
みさと団地自治会十一街区自主防災会
みさと団地自治会十四街区自主防災会
さつき平1丁目3街区1号館自治会自主防災会
テラウエスト5街区1号館自治会自主防災会

東 和 西 地 区

戸ヶ崎1丁目下町会自主防災会
戸ヶ崎2丁目東町会自主防災会
戸ヶ崎2丁目西町会自主防災会
戸ヶ崎2丁目南町会自主防災会
戸ヶ崎3丁目上町会自主防災会
戸ヶ崎3丁目南町会自主防災会
戸ヶ崎4丁目町会自主防災会
戸ヶ崎5丁目町会自主防災会
戸ヶ崎美郷町会自主防災会
戸ヶ崎6丁目町会自主防災会
戸ヶ崎7丁目東町会自主防災会
戸ヶ崎7丁目西町会自主防災会
戸ヶ崎8丁目上町会自主防災会
戸ヶ崎8丁目下町会自主防災会
栄1丁目町会自主防災会
栄2丁目町会自主防災会
栄3・4丁目町会自主防災会
栄5丁目町会自主防災会

安全な街づくりを
目指して!!
～私たちの街は
私たちが守る～

早 稲 田 地 区

半田町会自主防災会
みどり町会自主防災会
丹後上町会自主防災会
丹後下町会自主防災会
早稲田1丁目町会自主防災会
早稲田つつみ町会自主防災会
大広戸町会自主防災会
仁蔵町会自主防災会
幸房上町会自主防災会
幸房下町会自主防災会
谷中町会自主防災会

早稲田団地地区

三郷早稲田第一住宅管理組合自主防災会
三郷早稲田3-2 自主防災会
三郷早稲田第四住宅三丁目自主防災会
三郷早稲田第四住宅五丁目自主防災会
三郷早稲田第五住宅管理組合自主防災会
三郷早稲田第六団地管理組合自主防災会
三郷早稲田第七団地管理組合自主防災会
三郷早稲田第10団地自主防災会
三郷早稲田第11団地自主防災会

東 和 東 地 区

市助町会自主防災会
新和1丁目町会自主防災会
新和2丁目町会自主防災会
新和3丁目町会自主防災会
新和4丁目町会自主防災会
新和5丁目町会自主防災会
鷹野1丁目長戸呂町会自主防災会
鷹野1丁目八木郷町会自主防災会
鷹野2丁目町会自主防災会
鷹野東町会自主防災会
鷹野3丁目西町会自主防災会
鷹野4丁目町会自主防災会
鷹野5丁目鎌倉町会自主防災会
鷹野5丁目寄巻町会自主防災会
東町上町会自主防災会
東町みなみ町会自主防災会
高州1丁目上町会自主防災会
高州1丁目下新田町会自主防災会
高州1丁目仲町会自主防災会
高州2丁目本町会自主防災会
高州2丁目みどり町会自主防災会
高州3丁目東町会自主防災会
高州3丁目水里町会自主防災会
高州4丁目東町会自主防災会
高州4丁目西町会自主防災会

編集後記

- ・はやいもので、この機関紙も3号を数えることになりました。皆様のご支援に心より感謝いたします。
- ・今年も自然災害の多い一年でした。やはり「備えよ 常に」なのでしょう。
- ・本協議会加入団体も80を超えました。全団体が1年に1回防災訓練を行っても80回以上になりますね。これに対応する災害対策室から嬉しい悲鳴が聞こえそうです。
- ・この第3号より三郷市内全戸配布になります。発行部数に恥じない紙面の充実を図っていきたく存じます。
- ・もうすぐお正月。皆様良いお年をお迎えください。

(M)